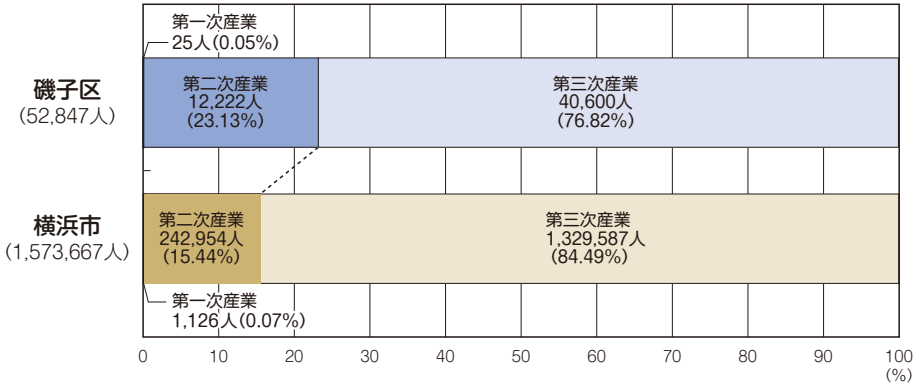


産 業

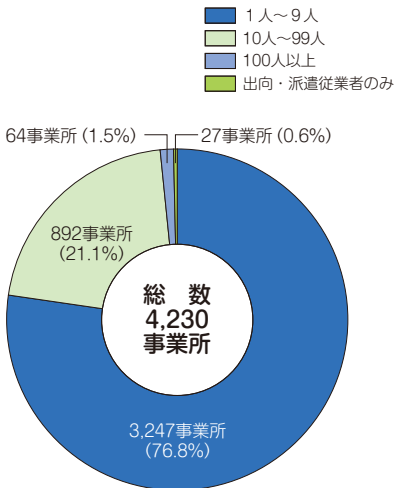
◆産業別従業者の比率 ～第二次産業従事者割合の高い磯子区～

磯子区の沿岸部には工業地域が広がっているため、市全域と比べると第二次産業へ従事する人の割合が高くなっています。



出典：平成26年経済センサス基礎調査

◆従業者規模別事業所比率（磯子区）



出典：平成26年経済センサス基礎調査

「第一次産業」

自然の恩恵を利用して収入を得る産業で、農業、牧畜、林業、水産業、狩猟業のこと。

「第二次産業」

製造業、建設業などの工業生産、また、第一次産業の生産品を材料にした加工業や地下資源を採取する鉱工業などのこと。

「第三次産業」

第一次産業や第二次産業に含まれない全業種のこと。情報通信業、金融業、運輸業、小売業、飲食店なども含めたサービス業・塾などの教育、公益事業などが含まれる。

1. 第一次産業 ～規模は小さくても健在～

農業〈区別農家数と耕地面積〉

(戸) (a)

区名	総農家数	販売農家	自給的農家		経営耕地面積（販売農家）				
			うち専業	うち兼業	合計	田	畑	樹園地	
鶴見区	44	19	7	12	25	971	-	839	132
神奈川区	159	128	78	50	31	12,832	167	11,344	1,321
西区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中区	1	-	-	-	1	X	X	X	X
南区	5	4	1	3	1	X	X	X	X
港南区	77	40	16	24	37	2,484	178	1,808	498
保土ヶ谷区	118	84	39	45	34	6,770	23	6,144	603
旭区	312	146	54	92	166	11,589	197	9,265	2,127
磯子区	25	14	6	8	11	603	-	565	38
金沢区	65	21	2	19	44	931	-	771	160
港北区	360	216	114	102	144	15,390	558	12,415	2,417
緑区	365	229	102	127	136	19,052	3,156	11,877	4,019
青葉区	431	196	76	120	235	14,836	3,690	8,276	2,870
都筑区	479	275	124	151	204	19,281	793	15,812	2,676
戸塚区	314	188	84	104	126	17,458	1,328	13,612	2,518
栄区	119	51	27	24	68	3,181	401	2,384	396
泉区	375	263	123	140	112	27,213	1,719	20,804	4,690
瀬谷区	202	155	65	90	47	16,371	598	13,098	2,675
横浜市合計	3,451	2,029	918	1,111	1,422	169,094	12,808	129,121	27,165

※ 「X」は数値が小さいため、秘密の保護を目的に非表示としています（秘匿）

出典：2015年農林業センサス

磯子区の経営耕地面積は
横浜スタジアム(26,200m²)の約2.3個分だよ!



漁業〈地区別漁業経営体数、海上作業従事者数の推移〉

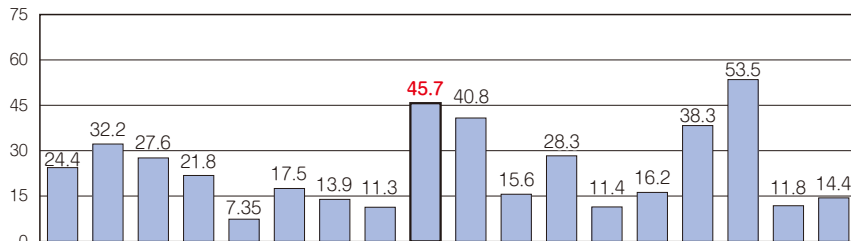
漁業地区	平成10年		平成15年		平成20年		平成25年	
	経営体数	海上作業従事者数(人)	経営体数	海上作業従事者数(人)	経営体数	海上作業従事者数(人)	経営体数	海上作業従事者数(人)
鶴見	16	36	17	41	14	42	12	32
神奈川	42	58	43	61	30	60	24	54
西・中	21	40	18	34	18	19	22	28
磯子	7	7	6	6	6	6	9	10
金沢	125	245	110	202	106	186	100	179
計	211	386	194	344	174	313	167	303

出典：各年漁業センサス

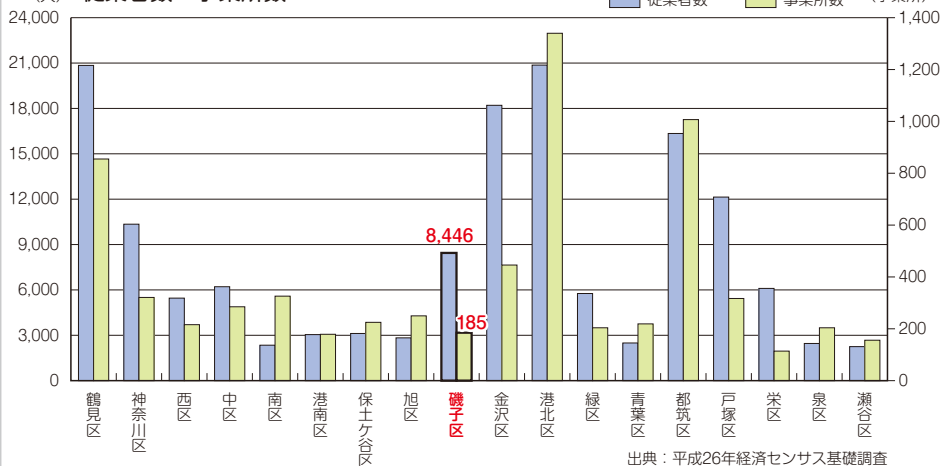
2. 第二次産業

〈区別従業者数・事業所数（製造業）〉～1事業所あたりの平均従業者数は18区中2番目～

(人) 1事業所あたりの平均従業者数



(人) 従業者数・事業所数



〈区別製造品出荷額等〉～製造品出荷額等・1事業所あたりの製造品出荷額は横浜市 No.1!!～

順位	区名	製造品出荷額等 (億円)
1	磯子区	14,566
2	鶴見区	7,123
3	金沢区	3,833

順位	区名	1事業所あたりの製造品出荷額 (百万円)
1	磯子区	17,549
2	栄区	4,790
3	神奈川区	2,796

※従業員4人以上の事業所
出典：平成24年経済センサス活動調査

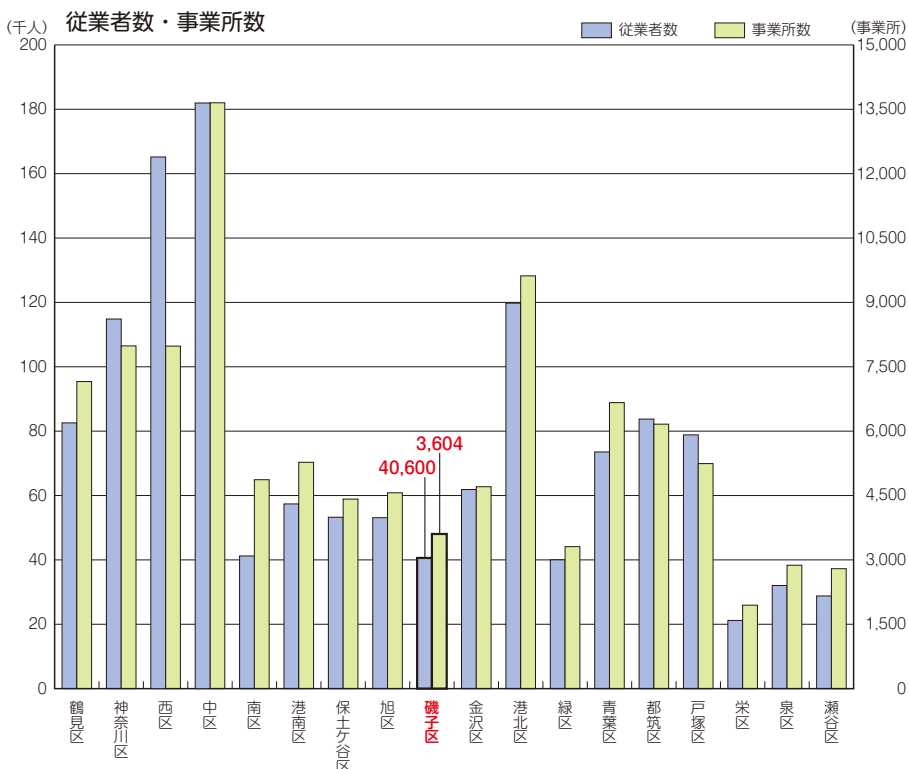
製造品出荷額等・
1事業所あたりの製造品出荷額
ともに横浜市No.1だよ！
市内でも工業が
盛んな区なんだね！



3. 第三次産業

〈区別従業者数・事業所数〉 ～事業所数・従業員数は18区中14位～

磯子区の1事業所あたりの平均従業員数は、11.3人となっています。



〈業種別従業員数と事業所数 (磯子区)〉

業種名	従業員数	割合 (%)
	事業所数	
卸売業、小売業	8,561	21.1
	887	24.6
宿泊業、飲食サービス業	3,582	8.8
	534	14.8
不動産業、物品賃貸業	1,155	2.8
	449	12.5
医療、福祉	8,868	21.8
	482	13.4
その他	18,434	45.4
	1,252	34.7
合計	40,600	100.0
	3,604	100.0

※割合は小数第二位で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

出典：平成26年経済センサス基礎調査

業種別に注目してみると、卸売業・小売業の割合が高いね。磯子区には9つの地域に15の商店街があるんだよ。地域に根付き愛されている逸品もたくさん!



磯子区の産業のうつりかわり

江戸期、磯子区の海では漁業が盛んだった

根岸湾の漁業は、江戸時代中ごろから農業の合間に始められ、江戸城本丸へ御膳用の魚介取め役を命じられました。漁船や人力などを利用し、手繰網などの引き網や地引網などを使って、タイ、カレイ、ヒラメやシャコ、カニ、エビなどを取りました。また、アイナメ、アナゴ、ギンボ、エビ、コハダなどが取れ、ナマコをゆでた後に天日で干した、屏風浦の「いりこ」は名物でした。

大正末期から昭和初期にかけて、アサリなど貝類の養殖が始まり、一般市民にも潮干狩りが普及しました。根岸湾での海苔の養殖は、大正初期から屏風浦で始まりました。

大正10年ごろから最盛期に入り、戦争による沈滞期を経て昭和26年に復活しました。昭和10年ごろからは縄網を横に張る方法で養殖がおこなわれ、磯子・森・中原・杉田の遠浅の海には、海苔の網（ひび）が林立していました。

昭和34年から始まる埋立事業により、根岸湾は新たな歴史の幕開けを迎えることとなりました。



「江戸名所図会」より杉田村海産製(すぎたむらなまこをせいす)



海苔の養殖(昭和30年代)



根岸湾の埋め立て

(昭和30年代前半)



(昭和50年代前半)



(平成30年現在)

明治初期に開削された運河、堀割川

堀割川は、明治初期に開削された全長2.7kmの人工運河で、明治7年に完成しました。舟運路として重要な役割を果たしたこの川では、船から荷物の積み降ろしをするための荷揚場や階段、船をつなぐための繋船柱と繋船環が規則的に配置され、運河沿いに木材業、造船業、煉瓦や染物工場が建ち並び、運河を行き来する船で賑わいをみせていました。現在も川沿いの至るところでその名残を見ることができます。



絵はがき「横濱根岸堀割ノ桜」



現在の堀割川



天神橋上流の荷揚場・石積み階段

このように磯子区の歴史を知り、産業の統計情報を見てみると面白いと思いませんか？

参考：磯子区政推進課「いそごまちあるきガイド＜磯子区制80周年記念事業＞」(平成19年10月発行、P.64)

参考：磯子区政推進課「磯子みどころガイド」(平成27年2月発行、P.17)

出典：「江戸名所図会」『横濱根岸堀割ノ桜』(横浜開港資料館所蔵)

写真提供：「海苔の養殖(昭和30年代)」(前田源一郎様)

【お問合せ】磯子区総務課

電話 750-2316 FAX 750-2530